

広報

昭和 61 年



リシリ

1

月号

No.178



人口と世帯

世 帯 数	1,413	(△ 3)
人 口	5,465人	(△13)
男	2,748人	(△10)
女	2,717人	(△ 3)

昭和60年11月末日現在

(住民基本台帳登録人口)

おもな内容

- 2 ~ 7 …年頭のあいさつ
- 8 ……国勢調査結果まとまる
- 9 ……除雪作業にみなさんのご協力を
- 10 ……冬道の交通事故防止
- 11 ……あなたと保健室
- 12 ……食事こそ家族のきずな
- 13 ……りしりの博物誌
- 14 ……国民年金だより
- 15 ……社会教育だより
- 16 ……戸籍のうごき

交通事故死ゼロ記録1月1日現在1568日

三津賀新年



年頭にあたつて

利尻町長 保野力雄

昭和六十一年の希望に輝く新春を迎え、心からお慶びを申し上げます。

私にとっては、町長として初めての新年であり、私は課せられた責務の重大さを、あらためてかみしめ身の引き締まる思いです。

就任後ようやく半年余をすごしましたが、健康で活力のある町づくりのため、みなさんのご理解とご協力を得ながら努力をしております。

今、昨年をふりかえって見ますと、一月末には一昨年に引続き流氷の接岸があり、しかも三月中旬まで接岸が長期間に及んだため沿岸資源に甚大な被害を受けました。

また、四月十二日には町民のみなさんから親しまれ敬愛されておりました小島町長が急逝されという最も悲しい出来事がございました。

漁業も春の鮪のまき網と、うにが若干よかつたものの、そのほかは魚類も海藻類も大凶漁で終つてしましました。

昭和六十一年『健康で明るい活力ある町づくり』

そう言うなかにあって、永年の懸案であった利尻島国保中央病院が、りっぱに完成し十月一日開院しましたことは、島民の今後の健康管理のうえから、誠に喜ばしいことでありました。

昭和六十一年度も、国・道・市町村とともに財政はきびしい年であると思います。

私は、利尻町新総合振興計画の昭和六十一年度以降の実施計画について、将来の社会状勢や、財政状況の見透しのうえにたって、再検討を行い、積極的に町民みんなのしあわせのための事務事業を優先的に取り上げ、実施していく所存であります。

しかし、利尻町は水産業のまちですから、従来の方針どおり水産業の振興が第一の柱であることに変りはありません。したがって、育てる漁業や、漁場づくり、漁船漁業の振興も図つて参ります。

また、みなさんもご承知のように、利尻町も非常に年令が高令化して参りました。したがって、老

人福祉や保健医療にも力を入れ、おもいやりのある親切な福祉行政を推進して参りたいと思います。

私は、今後町議会と緊密な連携をとりながら、新らしい町づくりのため、一生懸命努力して参りますので、町民みなさんの理解あるご支援とご協力をお願ひ申し上げます。

本年も、みなさんがご健康で、ご多幸でありますよう、心から祈念致しまして、ごあいさつと致します。



新年賀詞



年頭のことば

利尻町議会議長

原崎竹治

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、日頃から町政に対する暖かいご理解と絶大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。輝かしい昭和六十一年の新春にあたり、町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

顧みますと、昨年は内外ともに多事多難な年であり、特に経済不況の立直りの遅れている中での前年に引続く流水の被害は、町全体に大きな打撃を与えた。前年の傷跡を更に深くし、それから受けた漁業不振は、町内各業種に及び、深刻な経済不況となつて、少なからず私達の生活を脅かしました。又行政面におきましても町の中枢にかかる難関も幾度か有りましたが、良識ある町民各位のご協力を得て無事のり越え、着実に発展への基盤を固めて参りましたが、ここに新年を迎え、本町の一段の躍進を期し、清新の気がみなぎるのを覚えます。

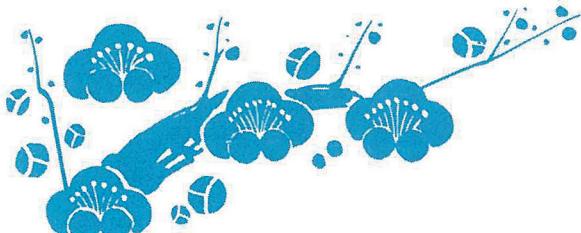
しかし利尻町といたしましても、国の未曾有の財政再建計画の中にあって、沿岸漁業振興対策事業の竣工、開院、そして役場庁舎及び公民館の改築等、財政につい

ても誠に厳しい対応が求められてゐる現状であります。私ども議決機関といたしましては、町民生活の安定向上を図るために、今後さらに創意工夫を重ね、限られた財源を有効に活用するため施策の厳密な選択を行い、歳出の効率化、合理化を徹底していくとともに、漁業生産、特に栽培漁業の一層の振興を進め併せて観光事業の拡大を図り、乏しい資源、厳しい環境の制約条件を町民一致して克服し、今までの安易な体質を改善し、バランスのとれた安定生活を目指していくことが肝要であると思います。

こうした厳しいときこそ、町議会は町民の代表として、町理事者と緊密な連携をとりながら、一步確実に町民の生活向上のために献身する考えであります。

どうか本年も相変わらぬご支援、ご協力を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

終わりに、皆様のご健勝とご繁栄を心からお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。



新年賀詞



年頭にあたつて

北海道知事 横路 孝弘

道民のみなさん、明けましておめでとうございます。
 みなさんにとつて、今年がよりよい年であることをお祈りします。
 今年は、憲法公布四十周年であり、また「国際平和年」です。憲法の理念である平和と民主主義は、私たちが生活を営むうえの基盤です。この意義ある年を機に、さらに多くの人びとと語り合い、まもる機運の醸成に努めてまいりたいと思います。そして、北海道が平和への「一粒の麦」として、世界の発展に貢献することができることを願っております。

また、今年は、「二十一世紀へ向けての北海道づくり」の設計図ともなる、新しい総合計画策定の仕上げの年です。新時代を拓くのにふさわしいパワフルでダイナミック、かつ実効性のある計画にしていくため、みなさんのご意見をいただきながら、さらに検討と努力を重ねてまいります。そして、だれもが仕事に喜びを感じ、どこに住んでも安心して生活ができる、生き生きとした地域社会を創造するとともに、豊かで美しい自然や風土を守り、この北の大地を自信をもって子供たちに引き継

いでいきたいと考えております。

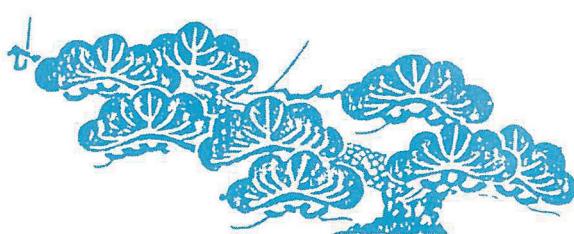
景気は緩やかに回復し、明るさをみせはじめておりますが、本道をめぐる情勢はなお厳しいものがあります。そうしたなかで、「一村一品運動」が各地域の人々の熱意と創意に支えられて根づき、村おこし・町おこしに弾みを与えているのは、たいへん心強い限りです。二百十二の市町村がそれぞれ個性ある「顔」をもち、大きく発展することを願っております。

この三月には、「第一回冬季アジア競技大会」が札幌市で開催されます。これは、アジアの友情と連帯を深め、平和に寄与しようとする意義ある大会です。道民のみなさんとともに、ぜひ成功させたいと思います。

みなさんが、今年も健康でありますように。そして、北海道の一年が平穡で豊かでありますようになります。

このロマンと可能性に満ちた北の大地を、新世紀に向けて力強く切り拓いていくため、ともにがんばりましょう。

昭和六十一年元旦



年頭にあたつて

北海道宗谷支庁長

牛坂

啓



明けましておめでとうございま
す。

希望あふれる六十一年の新春を
ニーズに対応した生活基盤整備が
計画どおり着実に進められてきて
おります。

さて、今年は二十一世紀へ向けての「北海道づくり」の設計図ともなる、新しい総合計画策定の年です。

昨年を顧みますと、景気は緩やかに回復し、明るさをみせはじめ
ておりますが、本道をめぐる情勢はなお厳しいものがありました。

宗谷管内におきましては、各市町村の厳しい財政状況の中であ
れ、関係者のご努力により農林水

産業の生産基盤整備をはじめ社会
福祉、道路、教育等の地域住民の
生産・生活基盤の整備を進める

とともに地域活性化の努力を傾け
てまいりたいと考えております。

今後の取組みの方向ですが、農業については、ここ数年順調に推
移してきた生乳需給が、消費の伸び悩み等から全国的に緩和傾向に
転じ厳しい環境となつております。

このため、今後とも地域農業の活力を維持し、大規模で生産性の
高い農業の実現を図るため、体质

の強い、酪農経営に向けての指導
にあたるとともに、生産基盤の総合的な整備や経営能力の優れた担
い手の育成、確保に努めます。

林業については、人間生活に深く
係わる森林資源の造成をはじめ、国土保全のための治山事業、

林道の整備を推進します。

水産業については、沿岸漁場整備開発事業、沿岸漁業構造改善事

業など各種制度を有効に活用し、
つくり育てる漁業を推進していく

とともに、資源と漁場に見合った
漁業生産体制の整備や資源保護対

策の推進に積極的に取組み、資源
管理型漁業の確立を図り、漁業生

産の基盤である漁港機能の充実強
化や、立ち遅れている漁村環境の
整備を図っていくこと等により、

いくためにも、みなさまのご意見
をいただき、又、ご協力を得ながら

「明るく豊かな漁村」の形成に努
力してまいります。

また、日本最北の魅力ある観光

地として、広域観光にも対応する
通年観光の開発や観光施設の整備
を進めるとともに観光振興を促進
してまいります。

近年、アウトドア指向が高まり、
この宗谷地方の雄大かつ美しい自
然に触れようとする来訪者が、四
季を通じて目立つようになつてき
ております。

これら来訪者のみなさんを暖かく迎え、この地に永く住んでいる
人たちにも、より魅力ある潤いの
ある地域となるよう「快適ランド
宗谷」の実現に努めたいと考えて
おります。

次に、生活基盤の整備について
おりますが、社会的に弱い立場
にある方の福祉の充実や、高齢化
社会に対応し、みんなで支え合う
温かい社会福祉を築くため、ノー
マライゼーションの理念を基に福
祉への住民参加を積極的に呼びか
け、さらには医療体制の確立をめざ
してその促進を図ります。

昨年は、管内におきましても多
くの交通事故が発生し、前年にも
増して尊い人命が失われましたこ
とは誠に残念でなりません。

交通事故を防止するためには、
新春を迎え、宗谷の限りない發
展を心から念願申し上げ年頭のあ
いさつとします。

道としても、これ以上悲惨な犠
牲者を出さないためにも「わたし
も交通安全運動」を展開し、あら
ゆる場面においてあらゆる住民の
方々に積極的に運動に参加してい
ただくなど交通安全運動の啓発に
努めます。

知事が提唱している「一村一品
運動」が管内におきましても各地
域で根づきはじめ、青年を中心
した各種イベントなどを通じ、村
おこし・町おこしに弾みを与えて
いるのは、私としてもたいへん心
強く思っております。

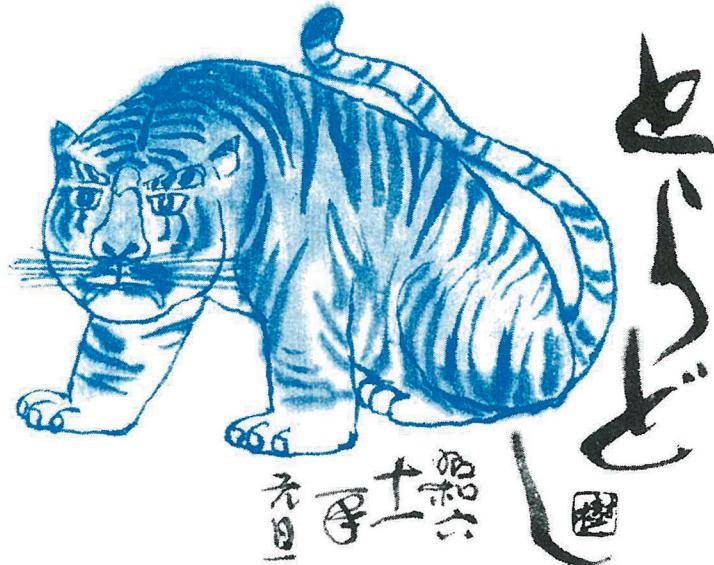
特に、管内の各種団体が一同に
会し、地域の振興について話し合
おうとの動きが盛り上がりつつあ
ることは、誠に喜びにたえないと
ころであり、今後の活動を期待す
ることも、出来る限りの協力を
してまいりたいと考えております。
宗谷のみなさん今年も健康であ
りますように。

新春を迎えるにあたり、宗谷の
限りない発展を心から念願申し上
げ年頭のあいさつとします。

住民一人ひとりが強く安全意識を
自覚し、人命尊重に徹することが
何よりも肝要であります。

新年

おめでとうございます



議会事務局長

米 葛 岩 西 浜 吉 越 加 高 岡 町 不 菅 谷 惣 関 牧 大 原	議員長
本 西 島 島 岸 田 智 藤 島 山 村 破 野 口 万 野 腰 崎	議員長
末 明 秀 松 雄 正 哉 力 孝 光 幸 保 守 稔 市 直 太 郎 吉 太 郎 金 治 郎 竹 治	議員長
松 俊 夫 雄 正 哉 力 孝 三 郎 夫 勇 司 保 守 稔 市 直 太 郎 吉 太 郎 金 治 郎 竹 治	議員長

利尻町議会

教育長	白幡昭三	収入役	助糸谷克明	町保野力雄
五十嵐国夫				



謹んで新春を お祝い申し上げます



昭和61年元旦

大島正治	佐々木捷昭	総務課長
島谷静夫	上田紀宏	住民課長
板沢元	田島喜一	民生課長
石川秀義	原順逸	水産課長
柴田喜義	田島喜一	農林商工課長
建設課長	柴田喜義	建設課長
仙法志支所長	原順逸	水産課長
教育委員会次長	佐々木捷昭	総務課長

利尻島	院長
国保中央病院	林憲雄
内科医長	林憲雄
外科医長	尾畠弘美
婦人科医長	竹内二
事務長	草薙章
富樫昇	薙鉄也
看護婦長	利尻島好子

利尻礼文	消防長
消防事務組合	小坂俊市
総務課長	松田実
消防課長	河合英二
消防署次長	不破忠雄
不破忠雄	利尻礼文消防事務組合
無火災を	利尻島好子
火の取り扱いには	十分注意を

国勢調査結果まとまる

「ご協力ありがとうございました」

(四六、六一%) も減ったことに
なります。

人口
5,352人

世帯数
1,504世帯

なお総世帯数は一、五〇四世帯で、これは前回調査からみると三八世帯(二、五九%)の増です。一世帯平均の人口は三・五六人となつており、核家族化の現象がみられています。

参考として、昭和三十年

(ピーク時)からの各回国勢調査の人口の推移をグラフにしてみました。

ピークだった昭和三十年の調査に比較して、驚くなかれ実際に四、六七三人

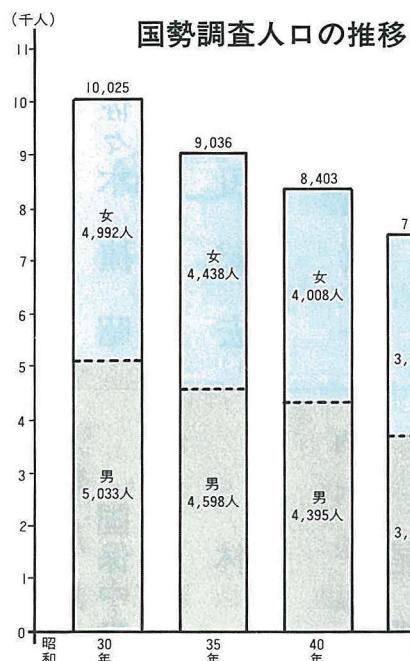
に

た。十月一日に全国一斉に行なわれた国勢調査は、みなさんのご協力により総て終えることができました。ご協力ありがとうございました。

調査の結果は、総人口五、三五二人で、性別では男二、六七八人、女一、六七四人でした。

これは前回調査(昭和五十五年)と比較してみると、総人口で四七六年(八、一七%)減、性別では男一六八人(五、九〇%)減、女三〇八人(一〇、三三%)減となっています。過疎現象があらわってきてから、ずつと減少をつけています。

二千人で、性別では男二、六七八人、女一、六七四人でした。



なお、お知らせした数字は、地方集計による概数であり、総務省統計局の公表結果と異なる場合があります。

受賞おめでとう

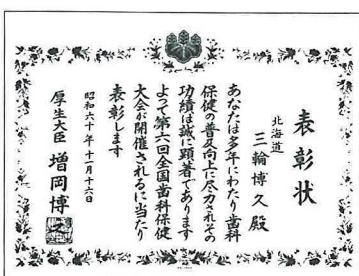
歯科保健事業功労者

三輪 博久さん(緑町)



利尻歯科診療所の三輪博久先生が、このたび厚生大臣表彰を受けました。

三輪先生は、昭和四十四年に本町に来町以来、現在までの十七年の永きにわたり住民の歯科診療と、保健の普及向上に尽力され、その功績が認められ、今回の大賞となりました。



ふるさとだより

1986.1.1

出稼者の皆さんへ

希望に満ちた輝かしい、新年を迎える心からお慶び申し上げます。

最近の社会経済の情勢の著しい変化に伴い、雇用対策についても相当きびしいものがあります。

今年も昨年秋から今春にかけて三百四十九名の方々が、郷里を離れ今なお稼働しております。

特に、季節移動労働者の高齢化に伴う健康管理及び安定就労等の援護措置も強く要請されます。

今回、町内各小・中学校のご協力で「ふるさと便り」を編集いたしました。

かわいい子供達がお父さん、お母さんの帰りを待ちわび、そして無事を祈り励ましの言葉が、書かれています。

皆さん、身体だけは充分気をつけて、無理をしないようにお互いに助け合い、励まし合い、元気でふるさと利尻へ、お帰りすることを、お待ちしています。

昭和六十一年正月

利尻町長 保野 力 雄



ふるさとだより

仙法志小学校

三年 石垣 司



二年 三上順也

お父さん、お元気ですか。ぼくたちは元気です。

お父さんは、いつしうけんめい

いしごとをしているのかな。

お父さん、いつばいはたらいて、お金

をおくつてね。お父さん、かえり

はおみやげをかつてきてね。

ぼくは、詩とか、学がい会をが

んばつているよ。学がい会のとき

げきは、みんなで木のはのお金金を

やつたんだよ。そして、ゆきは、

お花のウエディングをやりました。

ぼくは、いつも元気に学校へ行

っています。まさどまりは、ゆき

がいっぱいふっているんだよ。中

にわには、ゆきがいっぱいいたまつ

ているんだよ。きょうはふぶきになつていたんだよ。

じいちゃん、ばあちゃん、お元

氣ですか。お母さんも、ひとしも

ぼくも元気です。

利尻山は、雪でまつ白です。で

も、天気のよい日がつづいたり、

雪で、ふぶきの日もあります。じ

いちやん、ばあちゃんのいるところには、雪はふっていますか。

ひととぼくは、ときどきけん

かをしています。でも、すぐにな

かなおりをします。ぼくは、学校

で先生に、ときどきおこられてい

ます。でも、みんなとなかよく、

あそんでいます。

日曜日は、しゅう字にいつてい

ます。ぼくは、しゅう字で、七級

になりました。

今年の利尻の冬は、たいへんて

んこうがかなりやすく、朝は風が

なくとも、昼ごろから風がふいて

きます。十一月二十五日は、ゆき

が道路に、10cm 5mm ぐらいつもり

ました。雪もすごいけど、風もす

ぎいです。

それと、ぼくたちのくらしに、

一人、てんこうせいかきました。

名前は、ふじいまるくんです。

ようちえんのとき、同級生だった

まもるくんが、またきたので、と

てもうれしいです。これからも、

なかよくしていきたいと、思いま

す。

これで、学校やうちのじょうは

うはおわりですけど、また、てが

みをかきます。それでは、からだ

にきをつけて、がんばってください。ぼくも、からだにきをつけて、

学校のべんきょうや、うちの仕事に、力をいれたいと思ひます。

それでは、さようなら。

いしょ、病院の先生が、かおを見

て、「三上君は元気だね」ついて、

つか、うつたら、あまりいたくな

つたです。

利尻では、雪がふつてあるきず

らくて、もう、10cm ぐらいいのふか

さの雪がつもつています。

そして、お父さん、仕事をがん

ばつしています。ぼくも、う

ちのことについて、茶わんを出し

たり、さげたり、あらつたり、い

いろいろな仕事をしています。もう

お父さんも、かぜをひかないで

ください。これからさむくなるの

で、ちょっと手や足がつめたくな

ると、物をおとしたりして、けが

でもしたらこまるので、気をつけ

て、しごとをしてください。

さようなら。



三年 三上信悟

お父さん元気ですか。ぼくは、

元気です。

今年の利尻の冬は、

たいへんて

んこうがかなり

やすく、朝は風が

んばつて

いるよ。学がい会のとき

しゃの日で休みなので、日曜学校

で、スクールバスのつて、発電

所にいつて、いろいろな話を聞い

て、その次、あわびのようしょく

センターにいつて、なまことか、

ごいです。

お父さん、お元気ですか。ぼく

は元気です。

今年の冬は、とても寒いです。

お父さんがいつてから、子ども文

化のつどいがありました。それと、

十一月二十五日に、インフルエン

ザのよぼうちゅうしゃがありまし

かんせいましたか。

ぼくは、べんきょうをガンバッ

テます。十一月二十五日に、ぼく

たちの学校で、インフルエンザの

よぼう注しやがありました。ぼく

は、三番に注しやをしました。さ



三年 田中英晴

お父さん、お元気ですか。ぼく

は元気です。

今年の冬は、とても寒いです。

お父さんがいつてから、子ども文

化のつどいがありました。それと、

十一月二十五日に、インフルエン

ザのよぼうちゅうしゃがありまし

かんせいましたか。

ぼくは、べんきょうをガンバッ

テます。十一月二十五日に、ぼく

たちの学校で、インフルエンザの

よぼう注しやがありました。ぼく

は、三番に注しやをしました。さ

といいちゃん、ばあちゃん、お元

氣ですか。お母さんも、ひとしも

ぼくも元気です。

利尻山は、雪でまつ白です。で

も、天気のよい日がつづいたり、

雪で、ふぶきの日もあります。じ

いちやん、ばあちゃんのいるところには、雪はふっていますか。

ひととぼくは、ときどきけん

かをしています。でも、すぐにな

かおりをします。ぼくは、学校

で先生に、ときどきおこられてい

ます。でも、みんなとなかよく、

あそんでいます。

日曜日は、しゅう字にいつてい

ます。ぼくは、しゅう字で、七級

になりました。

今年の利尻の冬は、たいへんて

んこうがかなり

やすく、朝は風が

んばつて

いるよ。学がい会のとき

しゃの日で休みなので、日曜学校

で、スクールバスのつて、発電

所にいつて、いろいろな話を聞い

て、その次、あわびのようしょく

センターにいつて、なまことか、

ごいです。

お父さん、お元気ですか。ぼく

は元気です。

今年の冬は、とても寒いです。

お父さんがいつてから、子ども文

化のつどいがありました。それと、

十一月二十五日に、インフルエン

ザのよぼうちゅうしゃがありまし

かんせいましたか。

ぼくは、べんきょうをガンバッ

テます。十一月二十五日に、ぼく

たちの学校で、インフルエンザの

よぼう注しやがありました。ぼく

は、三番に注しやをしました。さ



四年 倉野留美

お父さん元気ですか。私はとても元気です。

利尻は、とっても寒いです。神奈川は寒いですか。利尻山は、雪がつもつてまっ白です。おじじもおばばも元気です。雪は、五、六回ぶりました。学校に行く時も、寒くてたまりません。仕事はいつも、ざんぎょうをしているんですね。

か。たいへんでしょうね。

学芸会の時、私は、落葉のロックをおどりました。げきは、森のおとし物というのをしました。落葉のロックは、六人でおどりました。服は、ティシャツに、たくさん葉っぱをつけておどりました。

げきは、私はくまのやくをしました。がつそは、ドナウ川のさざなみをしました。うたもうたいました。ピアノをひきました。おぼえのに大へんでした。

家の手つだいを、いつしきうけんめいするので、お父さんも、い

つしきうけんめいはたらいて下さい。電話もときどきかけて下さい。かぜをひかないように。

さようなら。

五年 西島麻美子

お父さん、お元気ですか。私は毎日元気に、学校へ行っています。お父さんも、元気ではたらいていますか。

利尻山には、雪がつもつていて、道路にもつもつています。一日一日、さむくなっていますが、だいじょうぶです。お父さんも、かぜをひかないようにしてください。

もし、かぜをひいたら、はやくなおしてくださいね。

そっちへ行って、楽しいことや、くるしいことがあるとおもいます。

元気ですか。私は元気です。

利尻では、山に、たくさん雪がふりました。道路にも雪がふっています。時どき、雨がふったりします。外は、だんだん寒くなってきました。東京の方は、もう雪は

ふっているでしょうね。毎日毎空はくらくて、雪がふる日が、多くなってきました。日がしずむのも、早くなりました。

お父さんの所は、さむいですか。雪がふっていても、あたたかいで

すか。暗くなると、風がつよくな

ります。それと、おばあちゃんと私で、お父さんの話をしています。お父さんも、私やおばあちゃんのことを、かんがえてくれていますか。

みじかいでがみだけど、これであります。いつしきうけんめいおわります。はたらいて、一日でもはやく、かえってきてください。

お父ちゃんがつくっていくことあります。ねえちゃんとおばちゃんはあります、だいたい三人でやっています。ねえちゃんとおばちゃんは、下でねています。私とひ

では、上でねています。外が寒いから、コロは、なかなか家の中から出でこない日もあります。朝は、みんなが学校に行つたら出ていて、三時ころになつたら一回きて、ねるちかくになつたらきて、家にとまります。

べんきょうは、上ならさむいから、下でやっています。それでは、お父さん元気で働いて下さい。

五年 田中晴子



ります。外に出れば、すぐくさむませんか。きっと残業でいつしょけんめい働いていることと思いまます。

そちらの天気はあたたかいです。利尻では、雪がふって、山はまつ白です。仙法志では、道路は白くなつたりとけたりして、あまりつもりそくにもありませんが、歩きにくい毎日です。

今、利尻では、夜おきを見ると、あかりをつけて、四十ばかりかくのイカつり船が、あかりをつけている。でも、たくさん漁をしていて、でも、たくさんとれていません。

それから、近所では、ようしょくこんぶの作業が始まっています。そちらの漁業は、なにがせんですか。父さんあまりむりをしないで、いつしきうけんめい働いてください。写真と手紙をあとからおくるので見てください。

秋に、交通事故死ゼロ一五〇〇日達成記念マラソン大会がありました。そのマラソン大会で十一位でした。

学校のクラブでは、スキークラブにはいりました。まだすべなにけどミニポン山の木を切つたりして、冬にすべれるようにしていきます。ではかぜをひかないように、気をつけてください。さようなら

六年 倉野英一



父さん、元気ですか。ぼくも元気です。

家族みんなは、とっても元気

ふるさとだより



五年 木明 仁



一年 木村貴嗣

おじい、おばあ、お元気ですか。
ぼくや家族のみんなは、元気でや
っています。

そちらはどうですか。そちらも
寒いと思います。こちらもすごく
寒くて、雪もたくさん降っています。
雪は積つたり、とけたりして
いるのをくり返していて、なかなか
か積りません。海もすごくしけて、
いつもあれています。風はすごく
冷たくて、天気もいつも悪く、ほ
とんどくもりや、雪降りです。

学校に行くのは、前から、毎日
スクールバスでかよっているので、
遠い所を自転車で通い、部活で遅
くなるので、家に帰る時刻はすご
く遅いです。

私は、自分ではがんばったとは
思います。けれども、お父さんは
どうではありません。もうすぐお母
さんも帰ってきます。それまでが
なんります。お父さんもがんばっ
て下さい。

お父さん、元気で仕事をしてい
ますか。ぼくは、かぜをひいて、
はなみずがでたりしていますが、
すぐになおりそうです。

お父さんは、たまあに電話で、
話をしていたりしているから、あ
まりさびしくありません。

おみやげも、あまりほしい物が
ないでいいません。

でも、おこづかいは、ほしいで
す。お父さん、体にきをつけ、
毎日元気に仕事をつけて、たく
さんお金をもって帰つて来てくだ
さい。ぼくも、学校で、いろいろ
なことを教えてもらつたり、勉強
したりして、がんばります。

お父さんも、毎日気をつけて、
元気に家に帰つて来てください。
さようなら。

仙法志中学校

樂をやりました。劇は、火正月と

いう題名で、旅の老人の役をやり
ました。樂器は、木きんというの

をやりました。両方とも、とても
うまくできました。

そして、お父さんが東京に行く
ことになりました。お父さんは、
私たち三人を、家においておくの
は心配だと言つて、おばさんに来
てもらうことにしました。私は、
だいじょうぶだとは言いました。

でも心配だと言つて、おばさんに

来てもらつて、おばさんに来
てもらうことにしました。私は、
だいじょうぶだとは言いました。

でも心配だと言つて、おばさんに

来てもらつて、おばさんに来
てもらうことにしました。私は、
だいじょうぶだとは言いました。

でも心配だと言つて、おばさんに



二年 桧森恵美



二年 田中律子



二年 藤野真詞

今年、お父さんは、いつも十月
のはじめに、東京に行くのですが、
今年は、お母さんがケガをして、
十月の末に行きました。

お父さんは、お母さんのいない
間、私たち姉弟を見てくれました。
毎日、ご飯のしたくなど、いろい
ろ家のことをしてくれました。そ
れなのに、私はお父さんにはんぱ
がんばつてください。

そっちのほうはどうですか。
仕事は、つらくないです、でも



今、利尻では雪が降っています。
でも、雪はそんなにつもつていま
せん。

今、利尻では雪が降っています。
でも、雪はそんなにつもつていま
せん。

お正月に帰れたなら、家の人の
ためにも、一度かえつてください
ね。

今年、お父さんは、いつも十月
のはじめに、東京に行くのですが、
今年は、お母さんがケガをして、
十月の末に行きました。

お父さんは、お母さんのいない
間、私たち姉弟を見てくれました。
毎日、ご飯のしたくなど、いろい
ろ家のことをしてくれました。そ
れなのに、私はお父さんにはんぱ
がんばつてください。



ふるさとだより

す。道路にも雪がつもあり、朝などはとても寒く、道路には、氷がはしがつて、寒くはないでしょう。

そちらはどうですか。

こちらは、今年が最後の文化祭でした。後日祭では、僕達六人で、バンドをやりました。

去年とはちがって、いしょうを着て、バンドをやりました。去年よりも、うまくいったと思いました。

でも、後日祭は、今一つもり上がりませんでした。でも、僕達最後の後日祭だったので、思い出に残ったと思います。

十一月二十日に、今度は球技大会がありました。僕は、三年連続バケットです。今年は、必ず優勝したいと思います。

それに勉強の方も。来年は入試なので、がんばりたいと思います。

それに体の方も気をつけて、がんばりたいと思います。そちらも、体には十分気をつけて、仕事をがんばって下さい。

これから、そっちの方はもう雪が降りましたか。こちらは、十一月十五日の朝起きたら、雪がすこしつもつっていました。だけど、その日のうちにとけてしました。

今はつもっていなけど、すごく寒いです。



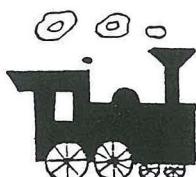
三年 大津ゆかり

お父さん、お元気ですか。お母さん、お姉さん、それと私も元気です。

まずはじめに、文化祭の話をします。文化祭には、舞踊に出ることになりました。はじめはいやで、あまりやる気はなかつたけれど、振付を考えている内に、少しづつやる気になつてきました。きまつた曲は越天楽です。この曲は、踊りには向かない曲だとされていますが、みんなの話では、とても良かつたという事です。舞台に立ったとき、すごくドキドキでした。

また、「私の主張」にも学級代表で出ましたが、結果は、第六位に入賞しました。中学校生活最後の、良い思い出になりました。

この「ふるさとだより」は、昭和六十年度農業就業改善推進事業（出稼ぎ対策）の一環として実施したものでした。



除雪作業に みなさんのご協力を

一路上駐車は絶対やめましょう

町では、除雪に万全を期しますが、除雪がスムーズに行えるよう、町民の皆様のご協力をお願いします。

▼ 大雪や吹雪のあとの大雪は、産業道路や港の確保を速やかに行うため、市街地等が多少遅くなる場合があります。

路上駐車や障害物は

除雪車を泣かせます

道路敷地内に丸太やドラム缶などが置かれていることがあります。

路上駐車はもちろんのこと除排雪に支障のあるようなものは、事前に取り除いておきましょう。路上駐車や障害物のある路線は、除雪が遅れるばかりでなく、その路線の全部が除雪できなくなりますのでご注意願います。

作業中の除雪車には

近寄らないでください

作業中の除雪車に近寄ることは非常に危険です。特にお子様をお持ちのご家庭では十分に注意して下さい。

◎ 除雪で出入口をふさぐこともあります、この雪を車道に投げないようにしてください。

◎ 路上で子どものスキーソリ遊びは絶対させないでください。

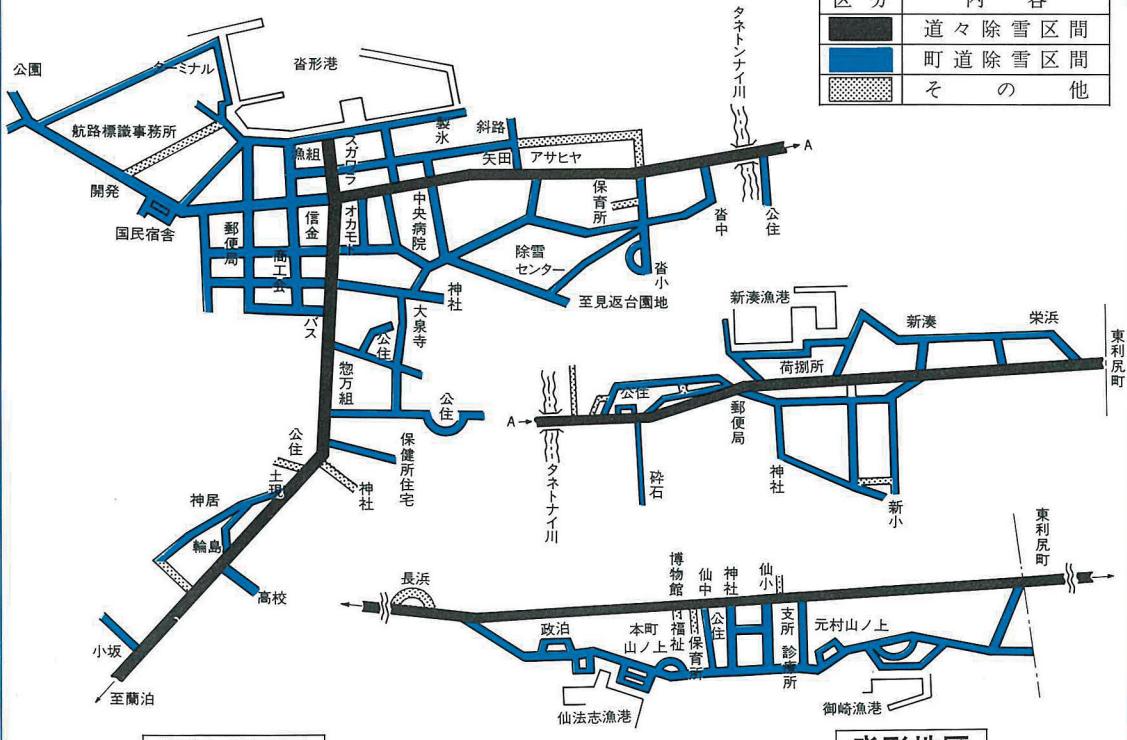
◎ 屋根の雪が、道路に落ちるような建物には、落雪事故が起きないよう、丈夫な滑り止めなどを取り付けるようにしてください。

◎ 消火栓、貯水槽の付近には万の火災に備え、絶対に雪を捨てないようにして下さい。



昭和60年度利尻町除雪計画図

凡例	
区分	内容
■	道々除雪区間
■	町道除雪区間
■■■	その他



沓形地区除雪車運行順序

除雪センター～栄浜

除雪センター～市街地～神居

1台} 午前6時出発

仙法志地区除雪車運行順序

仙法志支所～神磯(道々分岐点)～町道枝線
～本町～御崎 午前6時出発

冬道の交通事故防止

スピードはひかえめに!!

車間距離は十分に!!

スリップ事故防止を!!

雪山や家の陰からの飛び出しや
路上での遊びはやめましょう!!



一ドダウン運転をしましよう。

◎冬道は、路面がすべるうえに、
凹凸があり、スリップを誘発し
危険ですから追い越しはやめま
しょう。

◎雪山の陰からの飛びだしや路上
での子供の遊びに十分に注意し
て運転しましょう。

◎雪道での急ハンドル、急加速は
尻ぶりやスピinn(旋回)の原因
となります。ゆとりあるハンド
ル操作、アクセル操作を心がけ
ましょう。

◎バイクタイヤ等のアンバランス
は、スリップの原因となります。
同種・同質のタイヤを装着
しましょう。

◎積雪・凍結路では、思わぬ事故
が起こりやすいので、シートベ
ルトを着用して不測の事態に備
えましょう。

▼歩行者の方へ

一月は、本格的な降雪と厳しい
寒さが続き、路面の凍結や吹雪に
よる交通環境の悪化が多くなる時
期です。

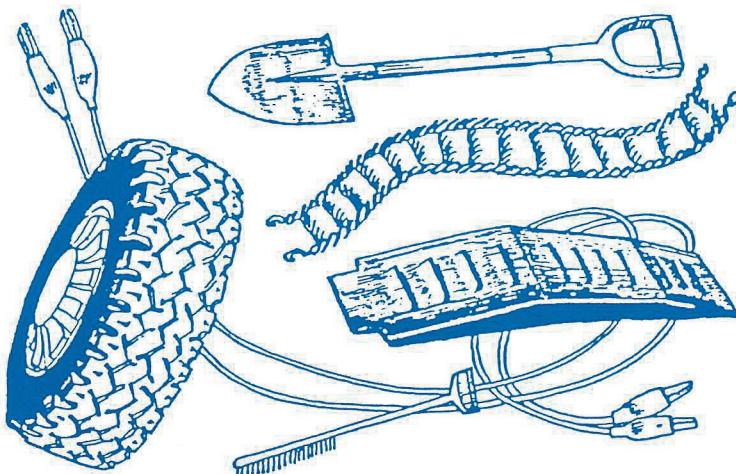
この時期は、特にスリップ事故
が多発いたしますので、運転者も
歩行者も「すべる」ことを忘れず
にお互いに次のことに注意しまし
ょ。

▼運転者の方へ

◎速度が速いほど停止距離が長く
なり危険です。特に冬道では、
スリップすることも考えてスピ
ードを控えめにしましょう。

◎除雪された雪山の陰は、車の運
転者からは見えない部分です。
左右の見とおしのよい場所を選
んで横断しましょう。

必ず携行したい冬道の装備品類



そんな軽装で出かけないで下さい!!

吹きだまりの中に車をつっこんでしまいどうにも出られなくなったり、山の中のカーブで雪だまりに入り込んでしまった。「車だから寒くない、大丈夫」などと考えて軽装で出かけると寒い車外での脱出作業でひどい目にあうことがあります。いつもしっかりと身づくりし防寒服の1枚ぐらいは常時積んでおいて下さい。

準備のない時に限ってトラブルは起きるものです。

★スペアタイヤ

★ジャッキ (工具類)

★タイヤチェーン

★ショベル

★スノーヘルパー

スノーブラシ

アイスカッター

けん引用ロープ

疊り止めスプレー

★バッテリーリード線

防寒服

ゴム長靴

★作業用手袋

サングラス

かいちゅう電灯

健康な毎日を送るために

あなたと保健室

“考えて飲めるか？“

アルコール

年末、年始、あわただしく、晴れがましい時期ですが、アルコール類を飲む機会が多くなり、仕事場でも家でも、まあほどほどに等と言いながら飲んでいる人が多く見られます。お酒が好きな人にとっては心ゆくまで飲めて、楽しくうれしい時でしょうし、飲めない人にとっては地獄のような時期かも知れません。

さて、このアルコール、最近ではHDLコレステロールを増やすといふ事で、百薬の長としての感じが強まつたような話されかたをしていますが、実際は、わずかに違いが出る程度でしかも、一日二合程度ならと

卷之三

酵素の働きで酒に強くなる。口から入ったアルコールは二〇%が胃で八〇%が小腸で吸収されて肝臓に運ばれて、分解処理されます。アルコ

肝臓は飲むほどに酷使される
アルコール処理能力が増しても肝
臓は強くなるわけではありません。
お酒の飲みすぎが肝障害につながる

大酒家やアルコール依存症者のように長期間飲酒を続けているとM E O Sの働きが高まり、そのためアルコール処理能力が速くなります。つまり、飲むほどに強くなるやえんです。

テヒドに酸化する酵素には一種類あります。一つは酸化の八〇%を受けもち
ふだんお酒を飲まない人が適量飲んだときに働きます。残り二〇%を受
け持つ酵素はミクロソームエタノール酸化系酵素（M E O S）といい、
酒飲みには重要な役を果たしています。

ールは、アセトアルテヒドという物質に酸化され、さらに酢酸になります。酢酸は炭酸ガスと水に分解されます。



ことは、ご存知の通りで、次のように考えられています。

アルコールが肝臓で分解される速度はほぼ一定で、一時間に体重 1 kg あたり○、一○、一五gとされて

（日本酒 $\frac{1}{3}$ 合）を分解できます。

まり日本酒一合を処理するのに三時
間、かかる。うつせぐ。

間かかるといふわけです

二杯(二四〇ml)

肝障害は、一日の飲酒量と飲酒期間が問題です。日本人の健康を考え

たアルコール限度量は、一日に日本酒にして三合以内にとどめるのが良

いと言われます。ただし飲酒歴が十五年以上の人は二合が安全です。

だから、忘年会、新年会又は、太晦日や元旦には、かしこく、自分の

体重と休む時間を考えながら飲んでみてはどうでしょう。

酒の肴をえらんで

その他、健康に飲むための注意を

いくつかあけてみましょう

お酒は空腹時に急ピツチで飲むと

アルコールが一度に吸収され、肝臓や胃腸にも負担をかけ、さまざまなお障害が出ます。食べながらゆっくり飲めば、食べ物が防御壁となつてアルコールの吸収もおだやかになり、ぐれも一気飲みなどしないように。

二、高タンパク、高ビタミン、高ミネラルのつまみを。

酒飲みの通は少しの塩辛いつまみで飲むのを好みますが、これは肝障害をおこす見本のようなもの。肝臓が働くには、タンパク質、ビタミンミネラルが必要です。おせち料理等は、タンパク質が主体になつていますが、野菜料理もぜひ多くしたいものです。たとえば、ナマスも、野菜を五、六種類位使ってみたりしてはいかがでしょうか。

三、濃いお酒はうすめて飲む。

濃いお酒は胃を悪くしますし、食道がん、口腔がんの原因にもなりますし、短時間で酔いすぎる状態になりますので、水やお湯、炭酸等で割りましょう。

とにかく無理して飲まない、飲まない。他の料理と一緒に味わって楽しく飲むのがよろしいでしょう。

食事こそ 家族のきずな

女子栄養大学教授
食生態学

足立 己幸

きるのです。

小言やグチは
食卓で“禁物”

授業に出なくなってしまった
中学生の食生活を調査したこと
があります。驚くべきことに、
調査した八人のうち七人までが、
一週間、家庭で一度も食事をし
ていませんでした。

彼らは、朝食を取らずに学校
へ行き、夜は外で何か食べてか
ら帰宅する、という生活を繰り
返していました。

外食が増えれば、食べ物の中
身からは自然と野菜が減り、限
られた種類のインスタント食品
を食べる割合が増えます。こう
した食事を何週、あるいは何か
月も繰り返していると、栄養は
偏り、青少年の体によくない影
響を及ぼすことは明らかです。
また、不規則な食生活のために
体調を崩し、精神的にイライラ
するなど、不安定な感情をさら
に助長させてしまわないとも限
りません。

何気なく 会話を交わせる場

成長過程にある子供の心理状
態は、それでも不安定なもので
す。学校の成績や交友関係など
で、毎日が試行錯誤の繰り返し

なのですから。それだけに、ふ
だん、親や兄弟と考え方などを交
わし合うチャンスをできるだけ
作ってあげることが大切です。
しかし、中学生ともなると、
親子で何かすることも、顔を合
わす機会さえもめっきり減つて
しまうのが一般的です。とすれば
ば、ふだん家庭生活の中で何気
なく会話を交わすことのできる
食事こそ、親子重要な役割を果
たすのではないでしょうか。

子供がいわゆる非行への誘惑
に引きずり込まれそうになつて
いる子供と一緒に食事をするよ
うです。

（談）
「食事は、親子が一緒に食べ
られるべきではない、というものが
いさえすればいい、というのも
ではありません。ぬくもりのある
食卓で家庭が子供の心のより
所となるか、家庭を嫌いにさせ
非行の芽を芽生えさせてしまう
か——それは、毎日の食事のあ
り方の積み重ねと関係が深いよ
うです。」

よい食卓、悪い食卓



歳時記

寒 稽 古

寒中の厳しい寒さの朝、少年剣士たちが、竹刀を持つ道場に急ぐりりしい姿は、冬の風物詩の一つです。最近は、武道の復活でこうした姿をよく見かけるようになりました。

もともと、朝の街かどでそれより目立つのは、ジヨギング姿。寒ジヨギングと言う言葉はありませんが、やはり、寒いからといって怠けてはならないとばかり、寒中は、よろうと考えていた子供も逆に反発したくなってしまいます。

食事は、親子が一緒に食べられるべきではない、というものがいさえすればいい、というのも、冬の季題の一つに消防の出初式があります。新年に当たり、消防関係者が、初めて出そろつて集団動作の訓練をするわけです。

特に有名なのは、東京の出初式で、江戸の町火消しの伝統を受け継ぐ薦職のはしご乗りなどが披露され、テレビなどで全国に紹介されています。

寒稽古」というと、最近は剣道とか柔道のことと思つている人が多いようですが、武芸に限らず、芸事、たとえば義太夫、長唄、清元、常磐津なども、寒中の朝に練習します。特に三味線は、寒弾と言つて、寒中に弾くといい音色がでるといいます。それにしても、寒のころはちょうど入学試験の追い込みの時期。予備校でも寒稽古(?)。早朝特別講習の真っ盛りのようです。

ところが、親の権威(主義)が強すぎて、逆に食事の場が親子関係をぎくしゃくさせてしまうこともあります。

子供と顔を合わせるのは食事の時だけ、とばかりに小言を言い続けたり、仕事や家庭内のグチをこぼされたのでは、子供もたまたまものではありません。本来、楽しいはずの食卓で、「遊んでばかりいないで勉強しなさい」と、こんな言葉ばかり浴びせられたのでは、これから頑張ろうと考えていた子供も逆に反発したくなってしまいます。

食事は、親子が一緒に食べられるべきではない、というものがいさえすればいい、というのも、冬の季題の一つに消防の出初式があります。新年に当たり、消防関係者が、初めて出そろつて集団動作の訓練をするわけです。

特に有名なのは、東京の出初式で、江戸の町火消しの伝統を受け継ぐ薦職のはしご乗りなどが披露され、テレビなどで全国に紹介されています。

寒稽古」というと、最近は剣道とか柔道のことと思つている人が多いようですが、武芸に限らず、芸事、たとえば義太夫、長唄、清元、常磐津なども、寒中の朝に練習します。特に三味線は、寒弾と言つて、寒中に弾くといい音色がでるといいます。それにしても、寒のころはちょうど入学試験の追い込みの時期。予備校でも寒稽古(?)。早朝特別講習の真っ盛りのようです。

博物誌

(34)

利尻島開拓者

種田鶴吉氏について

種田氏は元治元年(一八六四年)

祖父、吉兵衛、父を吉次郎といい、長男として生れた。

種田家は代々、福山町に於て知名のある漁業家としての家柄であった。

鶴吉氏は幼少にして儒学を修め、後に商業の見習いに身を投じたが、これに満足する事が出来ずに積み重ね、技能を蓄積し、やとその手腕を身につけて行つたと伝えられている。

明治十八年に父と共に、増毛舎熊村に独立して漁業を営んだのが、種田氏最初の漁業家としての第一歩であったのである。

そして、数年後に、利尻島仙法志の漁業として有望なる事を知

り、明治二十四、五年頃に、増毛を引揚げ、この地に移住し、未知の地に多くの困難を乗り越えて、同二十六年に初めて建網一か統を確保し、再び、夢多き地に漁業者として再出発したのであった。

この地は仙法志村字マサンドマリ五番地で、既に、天保年間以來鬼脇に漁業を經營し、明治二年に定住し、当地にもその經營をしていた、遠藤儀八郎氏漁場の周辺の地であつたと考えられる。(漁業

種田マサンドマリ五番地「大正十一年」となつていて。)

以後、漁運に恵まれ、巨萬の富をなしたと伝えられ、漁業三か年」となつていて。)

定漁業権の変遷の中に種田鶴吉、

字マサンドマリ五番地「大正十一

年」となつていて。)

父、吉次郎氏は明治三十三年四月二十五日に逝去し、その後、実権は、鶴吉氏その人に移り、遠藤儀八郎氏は明治三十五年三月十七歳で没し、その後、子、源蔵氏となるが、鶴吉氏の妻、セイ氏は源蔵の娘である事を考へると、

丹の漁業家である岩田金蔵氏に雇われて多くの辛苦にたえて漁業万般に亘り、大漁業者への体験を重ね、技能を蓄積し、やとその手腕を身につけて行つたと伝えられて

いる。

種田氏の実権に委ねられたと考えられるので、後者の定置二か統は遠藤氏の漁場と考えられ、推測できる。

種田氏は、從来からの才能と実力を持って、明治三十七年より、

きる。

更に、現在の仙法志漁港は、こ

村委会員として村政に力を發揮する二十年間、政治部落の信望を背負つて区長として二十五年間、また、消防組頭として、仙法志大火(大正五年一月)に陣頭指揮を取り、羅災者への救助に資財を投じるなどして十四年間、仙法志水産組合長、火防組長、漁業組合理事、仙法志小学校保護者会長、仙法志神社、専称寺総代等数多くの重責を担つた。

の地を中心として築設された。仙法志の地域として、地形・風向等の自然条件にも恵まれた所である。御崎のホツケ洞、本町の伊藤の潤等、急がれた仙法志漁港が、島内で最も遅く実現したのがこの政事、仙法志小学校保護者会長、仙法志神社、専称寺総代等数多くの重責を担つた。

の地を中心として築設された。仙法志の地域として、地形・風向等の自然条件にも恵まれた所である。虎次郎の両氏へと移り変つていった。○種田氏の人柄を偲ぶ一文予て病氣療養中の保護者会長、種田鶴吉氏、薬石効なく、昨夕逝去、村中、哭せざる者なし。二十六日、種田氏葬儀に職員・児童会員等が参列する。

(仙法志小学校沿革史による)

参考にしたもの

○仙法志村五十年史著

○開拓五十年史(北海道)

○北海道開拓記念調査報告24号

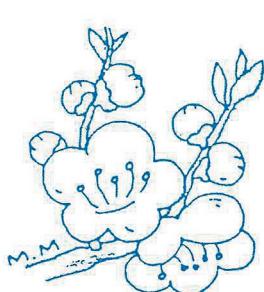
○その他の古文書

種田氏
は、昭和
二年五月
二十三日
六十四歳
でこの世
を去つた。

仙法志
に移住し
て、三十
五年間大
漁業家と



(利尻郷土史研究会会長)
工藤淨真



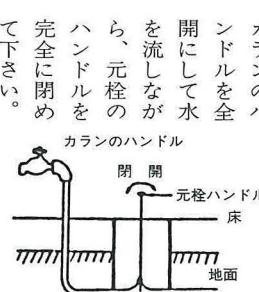
1986・1月行事(社会教育だより)

行事名	期日	時間	会場	対象	備考
利尻町成人式	1月5日	午後1時30分~	市民センター	広報12月号に掲載	
新春書初会	1月7日	午後1時~	研修センター	小・中学生	
		午後1時~	公民館	一般	当日会場へお越し下さい。
冬休み子供 映画会	1月8日	午前9時30分~	公民館	幼・小・中学生	題名 サイボーグ009怪獣大戦争 一休さん アンパンマンとばいきんまん かしのきホテル
少年かるた大会	1月16日	午前9時~	公民館	小・中学生	小学生4人1チーム編 中学生3人1チーム成
	1月17日	午前9時~	研修センター		

*ふるって参加下さい。詳細についてのお問い合わせは……利尻町教育委員会 ☎4-2445
利尻町公民館 ☎5-1049

気をつけ事前に凍結の防止を講じ
又、寒気のニュースなどに十分

願います。
凍結の度合によっては長時間ご
不便をかけることもありますので
凍結には充分注意するようご協力



万一凍結した場合は、水道
係か仙法志支所へ連絡してく
ださい。

凍結したとき

もし凍結したならば、タオルか
布きれを巻いてからお湯をかけて
みてください。お湯をかけ、少し
でも水が出るようでしたら、水お
としを念入りにすることで防げる
ことが数多くあります。

厳しい寒波から水道を守り凍結
を防ぐためには、日ごろから充分
注意し、忘れずに確実な操作をす
ることが大切です。

お寝み前や家を留守にするとき
は、必ずじや口を開けて、水
道管の中に水が残らないよう確実
な「水おとし」を心がけてください。

いよいよ厳しい冬将軍が訪れました。寒い冬が訪
ると水道の凍結が増えてきます。日中でも凍結するこ
とがありますから、取り扱いには十分ご注意下さい。

水道の凍結を防ぎましょう

水の上手な使い方

○蛇口はこまめに閉めましょ
う。ポタポタ漏れても一日
で約六〇㍑になります。

○ふろ水は、洗たく、掃除な
どに利用しましょう。
○洗たくは、洗剤洗いの後に脱
水しましょう。脱水してからすす
ぐと約一五%の節水ができます。

毎月15日は
道民交通安全
の日です



車に乗ったらシートベルト!!

Smokin' Clean



さわやか 君

西村 宗



▶新年交礼会◀

	沓形地区	仙法志地区
とき	昭61.1.1 午前11時	昭61.1.1 午後1時
ところ	利尻町老人 福祉センター	仙法志 公民館

出生
熊谷透
保護者
巧長男
住所
種富町125

氏名
西谷ハル
年齢
八八歳
住所
泉町128
死亡
福井勝太郎
六五歳
種富町125

て
(利尻町社会福祉協議会)

仙法志宇本町
病気見舞返しを廃して
仙法志宇神磯
妻妙子様の病気見舞返しを廃し
北辻末松様から



コンニチハ!
赤ちゃん!



お誕生おめでとう
ございます



戸籍の うごき

いつまでも
お幸せに

至11月1日
至11月30日

ご厚情に
感謝します

このたび次の方から愛情銀行に
金一封が預託されましたので、紙
上を借りてお礼申し上げます。



役場等の年末・年始について

次のとおり、年末・年始は休暇になります。急を要するこ
となどは、当直者がおりますので、ご遠慮なくおいで下さい。

区分	事務納め	事務始め	摘要
役場	昭和60年 12月30日	昭和61年 1月6日	
仙法志支所	"	"	
教育委員会	"	"	公民館・研修センター・体育館・町民屋 内運動場 12月29日～1月3日 図書室(老人福祉センター) 12月26日～1月7日
碎石事業所	"	"	
国民宿舎 りしり	"	"	休み中、浴場だけ12月31日、1月2日 4日・6日に限り午後1時から5時まで 営業します。
利尻島国保 中央病院	(診療納め) 12月30日	(診療始め) 1月6日	12月30日は、午後から休診